

越谷南ロータリークラブ会報

会長 岩淵秀一 幹事 染谷宗一 会長エレクト 小林光蔵
RI 会長テーマ 奉仕を通じて平和を
クラブ会長テーマ



平成25年4月4日 第1902回例会

国歌・ロータリーソング斉唱・黙想

ゲスト・ビジター紹介 越谷南高等学校 インターアクト部

植山先生、瀧さん、鈴木さん、高橋さん、田中さん

誕生月祝 荒井会員、清村会員

記念月祝 藤田会員、飯泉会員、小林（光）会員、田中会員、荒井会員



会長挨拶

皆さん今日は、4月に入るので第一例会ですので、ロータリーについての話をしたいと思います。今日は「ポリオ2005」の誕生の話です

1982年2月のRI理事会で、「ロータリークラブおよび地区が、保健、飢餓追放および人間尊重プログラム、世界社会奉仕計画、社会奉仕活動を通じて、世界中の子どもたちに伝染病に対する免疫接種を、適切な国際的、全国的、あるいは各地の保健機関と協力のもとに継続させることを奨励し、西暦2005年に国際ロータリーの100年祭を迎えるまでに、全世界の児童をポリオから守る免疫接種を完了させることを目標とする」旨を決議しました。これを受けて、1984-85年度、カルロス・カンセコRI会長(当時)は、この目標達成の方法をはかるポリオ2005委員会を任命、1984年11月の理事会で同委員会からのポリオに関する報告を受理、全世界的規模でのRIのポリオ撲滅活動が動き出しました。1985年2月、ロータリー創始80周年に当たって、RIは、ポリオ・プラス計画を発表しました。プラスとは、はしか、ジフテリア、破傷風、百日咳、結核の5つの病気を指します。ポリオだけではなく、これらの病気も含め予防接種も実施することとなり、ポリオ・プラス計画と改称されたのです。目標を上回る募金を達成 日本国内では、募金総額40億円を最終目標として、1986年7月から、日本ポリオ・プラス委員会により、5年計画のポリオ・プラスの募金キャンペーンが始まりました。各クラブや地区での積極的な取り組みのおかげで、このキャ

岩淵会長



ンペーンが展開されていた1986年7月から1991年6月までの5年間で、目標額をはるかに超える約49億円の寄付金を集めることができました。RIでは、1989年6月までの3年間をキャンペーン期間としていましたが、日本では5年計画を立てました。結果的には、5年間と見込んでしっかりとスケジュールを組んでいた日本のキャンペーン活動は成功で、非常に高い実績を上げています。RIでは、1988-89年度までの3年間で米貨2億4,700万ドルを集めました。これは目標額の2倍に相当します。多くの日本人がポリオワクチンを届ける。ロータリー財団では、WHOやUNICEFと綿密に連携し、集まった尊いお金をもとに、世界各地でポリオワクチンの投与を実施しています。しかしながら、ポリオワクチンの投与は、やさしいことではありません。宗教や紛争などの要因により、思うように事が運び場合も多々あります。ポリオワクチンを届けようとして、紛争に巻き込まれて亡くなった例もあります。日本のロータリーとしては、1994年に非ロータリー国である中国で、ポリオワクチン一斉投与を実施しました。また、1995年、第2650地区(福井・滋賀・京都・奈良県)はWCS(世界社会奉仕)の活動の一環として、カンボジアでワクチン一斉投与を行いました。この時はロータリー財団から30万米ドル、地区からは10万米ドルを拠出しています。同地区では、この活動を皮切りに、幼児たちのためのワクチン一斉投与を、1996年・モンゴルで、1997年・ネパールで、1998年・ラオスで、1999年・ベトナムで、2000年・中国/ミャンマー国境で、2001年・バヌアツで、2002年・ミャンマーで、2003年・カンボジアで、2004年・ラオスで、今年2005年はパプアニューギニアでと、11年間にわたって活動を続けてきました。その後、第2640地区、第2830地区など日本の多くの地区や、また、ロータリアンがポリオワクチン投与のために多くの国々へ出かけています。これらの中には、ローターアクター(ローターアクトクラブ会員)が、参加した例もあります。

「次々にポリオ撲滅宣言」

最初にポリオの絶滅が宣言されたのは汎米(北・中・南米)地域。1994年のことでした。次いで、世界で2番目、2000年、WHOにより西太平洋地域での「ポリオ根絶宣言」が出されました。「西太平洋地域ポリオ根絶京都会議」-この輝かしい宣言は「京都宣言」として発表されています。この「京都宣言」が大きく報じられたために、日本のロータリアンの中には、ポリオは終わったとの誤解が生まれているようです。京都宣言に

続き、2002年、ヨーロッパ地域での撲滅宣言が出されていますが、これまで出された宣言は特定の地域での撲滅宣言であり、地球上すべての地域で、ポリオが撲滅されたわけではありません。

「ポリオ撲滅活動の最終段階」

100周年を記念して、2005年6月に開催されるシカゴ国際大会で、ポリオ撲滅宣言を出すために、国際ロータリーは、2002-03年度に「約束を守ろう、ポリオをなくそう」を合言葉に、「ポリオ撲滅募金キャンペーン」を実施しました。目標募金額は、8,000万米ドル。これには、現金、地区財団活動資金(DDF)、そして個人やクラブの3年間の誓約を含んでいます。このRIの挑戦に呼応して、世界中の各クラブ、各地区では、今年度、新たな活動を展開しています。日本では、2005年の6月までの3年間で目標を達成するよう活動を続けています。ポリオの撲滅は99%達成しましたが、ロータリアンをはじめとする多くの人々の努力にもかかわらず、残念ながら6月に開催されるシカゴ国際大会で、100%撲滅宣言を出すことはできない状況になりました。人口の多いインドでは、外部からのさらなる資金援助を必要としています。アフガニスタンにおける内戦の悪化も挙げられます。パキスタンでは政情不安を抱え、国境を接しているアフガニスタンからウイルスが流入する恐れもあります。ナイジェリアでは、北部の州でワクチン投与が妨害されたために予定が大幅に遅れ、一度ポリオの撲滅を宣言した近隣諸国にポリオウイルスが再び広がりを見せています。RI国際ポリオ・プラス委員会委員長ウィリアム・サージェント氏は、「第2の恐ろしい病気が消滅すれば、発展途上国でほかの公衆保健事業に何億ドルもの投資ができます。発祥場所を正確に把握し、さまざまな病気群の存在を特定するために利用される研究所間のネットワークは、世界中で受け継がれています。また、世界は、歴史上最大規模の公衆衛生運動から貴重な教訓を得ることでしょう」と、『THE ROTARIAN』の編集者の「長い目で見たとき、ポリオ撲滅がもつ意味はどのようなもののでしょうか」という質問に答えて述べています。『奉仕の一世紀国際ロータリー物語』によれば、経口ポリオ・ワクチンの生みの親である故アルバート・セーピン博士はかつてロータリアンに、「1985年にポリオ・プラスを開始していなければ、ロータリー創立100周年の2005年にはポリオ患者が800万人に増加しており、おそらくその期間中に80万人がポリオで死亡していたことでしょう」と語っています。ロータリアンが取り組んだポリオ撲滅活動によって、ポリオの発症例は大幅に減少しました。今年でロータリー創立108年経った、今でも世界で3カ国には、未だポリオが存在しています。100%ポリオが撲滅したという宣言を出すその日まで、ロータリアンとポリオの闘いが終わることはありません。

引用・参考文献

『ロータリーの友』2004年8月、2005年4月の各号

幹事報告

染谷幹事

1. 第10回定例理事会の承認・協議事項。
2. ロータリーの友とガバナー月信が届いています。
3. 地区より女性会員の集い開催の案内が来ています。
4. 越谷ロータリークラブより公開例会の案内が来ています。

5. 県立越谷南高校より越谷南高校吹奏学部第28定期演奏会のご案内ご招待の案内が来ています。

詳細については幹事までお願いいたします。

委員会報告

親睦委員会

5/30(木) 合同ゴルフコンペ、合同親睦夜間例会について
地域広報雑誌・IT情報委員会

「ロータリーの友」P1, 5, 12, 20, 28, 38, 40, ①, ⑭, ⑮, ⑰, ⑳, ㉓
目を通して下さい。

新世代委員会

4/6(土) グランドゴルフ大会について
雨天の場合当日連絡します。

「IT環境に関するアンケート」

IT環境について会員様より色々な声が出ているのでご意見をアンケートに記入し提出してください。

越谷南高校 高校生海外研修派遣報告

植山康子先生



3/23-28の日程で行われたインターアクト訪韓団の報告をいただきました。瀧さん、高橋さん、鈴木さん

「韓国で多くの友達ができ、今でも連絡を取り合っています。ロータリーの皆様には大変お世話になりました。」と感謝の言葉と笑顔をいただきました。日本と韓国の架け橋になってくれることでしょう。



青少年交換派遣生の田中未菜美さん



アメリカのフロリダ州に派遣先が決まったと報告をいただきました。「これから、日本の文化を学んで、フロリダに紹介できるよう頑張ります。そしてアメリカ独自の文化を勉強してきたいです。」と意気込みを見せてくれました。

スマイル報告

岩淵会長、会長挨拶いつも御苦勞様です・・・染谷幹事
 越谷南高校、植山先生、生徒の皆さんようこそいらっしゃいました。今日も宜しくお願ひします。・・・岩淵会長、野呂田会員、浅水会員、池田(玄)会員、石野会員、神谷会員、木佐会員、久木野会員、黄会員、小林(光)会員、佐藤(陽)会員、瀬尾会員、中内会員、中尾会員、中島会員、濱野会員、深井会員、水町会員、吉田会員
 誕生月祝・記念月祝を頂きましてありがとうございます。・・・荒井会員
 誕生月祝を頂きましてありがとうございます。・・・清村会員、記念月祝を頂きましてありがとうございます。・・・藤田会員、小林(光)会員
 誕生月・記念月の会員様おめでとうござひます。・・・加藤会員
 本日早退します。・・・赤松会員、藤田会員、二川会員
 三月末日より台湾へ行き2クラブの例会に出席しました。・・・赤松会員
 3/28 馬君のお別れ会には、多くの方の参加を頂きありがとうございました。・・・石塚会員
 ロータリーの友 4月号を読んで下さい。・・・糸賀会員
 第2愛隣こども園が完成し、4/1 よりスタートしました。旧園舎41年間ありがとう。・・・大熊会員
 今夜はジャズをルースに聞きに行きます。・・・小林(光)会員
 今日は暖かくて気持ちが良いですネ!・・・中島会員

出席報告

例会日	平成25年4月4日		
会員数	52名	出席	31名
出席免除者	11名	欠席	16名
出席率	75.60%	前々回MU	1名
MU修正率	63.40%	会報担当:木佐	

————— クラブプロフィール —————
 ☆姉妹クラブ 国際ロータリー第3460地区
 台中南区扶輪社(中華民國台中市)
 ☆例会日 毎週木曜日(PM:30~1:30)
 ☆例会会場・事務局 〒343-0842
 越谷市蒲生旭町10-14 中野ビル2階
 TEL 048-987-5761
 FAX 048-987-5762
 E-mail info@koshigayasouth-rc.jp

米山記念奨学生の馬俊涛君からお手紙と写真が届きました。

『越谷南ロータリークラブの皆様
 こんにちは馬俊涛です。
 いつもお世話になっております。
 先週、私のために盛大な送別会を行なってくださって本当に心より感謝いたします。皆様から温かい言葉をいただき感動いたしました。
 (中略)
 社会人になったら、学生と違い、厳しくなると思います。特に日本語がうまくない、日本の礼儀を知らない外国人にとって、もっと大変だと思います。しかし、みなさまからの応援があるからこそ、怖いことなんかありません。
 私は圧力を動力に転換させて、立派な社会人になったら、また、クラブに訪ねたいと思います。
 今後、またよろしくお願ひいたします。
 3月31日 馬俊涛 』

写真は馬君の手紙に同封されてたものです。

米山記念奨学生終了式 (2013/3/5)



米山梅吉記念館 訪問 (2013/3/9)

